

鹿児島流

熱いハートの医師 育てます

写真協力：観光かごしま大キャンペーン推進協議会

私の臨床研修医時代

今給黎総合病院 くぼ 久保 ただひろ 忠弘

出身校 鶴丸高等学校 ▶ 鹿児島大学

私は、平成2年大学を卒業しました。今の研修医制度とは違い、卒業後は大学の医局に入局する人が多かったです。学生時代に聖路加国際病院や関東通信病院など有名な研修病院に興味を持ちましたが、最終的には鹿児島大学の第一内科に入局し、6月から研修医生活が始まりました。研修医時代に急性前骨髄球性白血病の患者さんを担当し、サンラビンという抗癌剤で加療しました。その頃は薬剤師でなく担当医が抗癌剤の準備をしていました。サンラビンは溶解するのに沸騰したお湯が必要であり、メーカーが用意した電気コンロを使用してお湯を沸かしていました。患者さんは DIC も合併していましたが、加療後白血病は寛解し一回退院されました。その後、地固め療法を施行中に死亡されたとの事でした。現在急性前骨髄球性白血病は全トランス型レチノイン酸の使用により、治癒率が高くなっています。医学もシステムも30年で進歩しました。患者さんがもう少し長生きされ、新しい治療法を受ける機会があれば良かったのと思っています。



出身地 鹿児島市

指導医の思い出



出身地 鹿児島県

すえなが とよくに
末永 豊邦

出身校 加治木高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶南風病院

鹿児島大学医学部を卒業したのは1966年(昭和41年)です。当時は現在の研修医制度と異なり、卒業後1年間のインターンシップ(実地修練)を終了した後、医師国家試験(春と秋の年2回)に合格して医師免許証を取得する制度でした。東京慈恵医科大学病院で研修しました。世田谷区にある救急指定病院に寄宿(部屋代・食事代無料)し、病院の診療を手伝いながら大学病院での研修を受けました。大学病院では、ほぼ全科の研修を受けましたが臨床的には得るものがなく、寄宿病院の院長から救急患者への対応・往診等の指導を受け、また非常勤の外科専門医から虫垂炎・ヘルニア・痔核等の手術手技を教えてもらい有意義なインターン生活でした。南風病院の初期研修医か外科を選択すると、腹腔鏡下の胆のう摘出・虫垂切除・ヘルニア修復手術の術者になるチャンスがあります。



出身地 鹿児島県

たけの うち しゅうそう
竹之内 聖三

出身校 鶴丸高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶今村総合病院

1991年に鹿児島大学第二内科に入局しました。当時はC型肝炎に対しインターフェロン投与の適応が通ったばかりで肝疾患の患者さんで溢れかえており、診療は7年以上研修を積んだ指導医、4年研修を積んだ臨床医、1年目の研修医と3名体制で患者さんを診るシステムでした。医師として働き始めて6日目、退院日も決まっていた患者さんが突然呼吸苦を訴え心肺停止に。その日は上の先生が二人とも外勤で不在の日であり右往左往したことを覚えています。担当でない指導医の先生に手当たり次第に声をかけ治療しましたが力及ばず。御家族に事情説明し病理解剖を行い救命できない原因であった事がわかったときは医療過誤ではなかったことに安堵している私がいまいました。研修医時代には色々な科の先生方、スタッフと出会い、気軽に相談できる関係を築けるようにコミュニケーションをとることを心がけましょう。



出身地 愛知県名古屋市

きむら けいいち
木村 圭一

出身校 愛知県立中村高等学校▶浜松医科大学

勤務先▶大隅鹿屋病院

私が研修医時代の思い出は、沢山ありますが、3つ紹介させていただきます。まず一つ目は、当時の指導医(上司)と当直以外は殆ど飲みに行って、どんどんお酒が強くなったことです。二つ目は、「病棟にアイスがあります」と看護師さんからcallをもらったのですが、当時、研修が始まったばかりの私は、「アイス」と言う処置があると思って見学に行って、病棟の看護師さんに笑われたことがあります。最後に三つ目は、今でも覚えている患者さんのことです。初めて担当させて頂いた患者さんは尿路感染症の高齢の女性でしたが、アメリカでは直腸診を含めて全身診察をする聞いていたので、やろうかなと思ったのですが、女性でしたのでやりませんでした。しかし、その人はしばらくしてから直腸がんが見つかって数年後に亡くなりました。私が直腸診をしていれば、死なずに済んだのではないかと思った事が今でも強く残っています。



出身地 阿久根市

はやし ともみ
林 知実

出身校 れいめい高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶霧島市立医師会医療センター

救急対応の出来る総合内科医になりたい!地域医療がしたい!全国から来た研修医と一緒に学びたい!との思いから、飯塚病院の門をたたきました。2002年卒業ですので、まだ研修医制度のない時代、入社当日に名刺を渡され、「株式会社のいち職員としての自覚」を促されたことが今でも思い出されます。学生時代は部活ばかりで、学力は二の次でしたので、研修医1年目は知識が追い付かず挫折の連続でした。しかし屋根瓦方式の教育ノウハウと、教えあい学び合うshareの精神の文化に触れ、少しずつ医師としての自覚が芽生え、有意義な2年間でした。患者さんに最初から最後まで関わられる外科医になることを決意し、初期研修後は鹿児島大学第一外科に入局し、現在まで充実した?外科生活を送っています。研修前後で夢は変わるものです。日々の生活を大切に、仲間とshareしながら、患者さんのhappyに寄り添える未来を描いてみてください。

研修医の声



よしたけ ともあき
吉武 智亮

出身校 大分高等学校▶大分大学

研修先▶総合病院 鹿児島生協病院

慣れない土地での研修開始に当初は不安がありましたが、同期に恵まれたことと、指導医の方々や医療スタッフをはじめ「病院全体で研修医を育てる」という雰囲気のおかげで、良い研修生活をスタートすることができました。当直研修では、見学→副当直を経験し、救急研修を終えた後に当直デビュー、と段階を踏んで安全さを確保しつつ徐々に来ることが増えていき、自身の成長を感じることができる良い機会となりました。また、SDH（健康の社会的決定要因）の考え方を学び、疾患の上流を意識すること、社会的資源の利用を考えるなど、学生の時にはなかった視点も身につけることができました。多くの患者さんと向き合い、頭を悩ませながら成長を重ね、良い医師になっていけたらと思います。

出身地 大分県大分市



よしまつ なりとし
吉松 成俊

出身校 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校▶東京医科大学

研修先▶鹿児島市医師会病院

研修医になって早4ヵ月が過ぎ、ようやく新天地・鹿児島での生活にも慣れてきました。麻酔科・神経内科での研修を経て、現在は消化器内科で研修をしています。研修開始当初は挿管やルート確保が思うようにできず、スタッフの方々から教えを受けたり、人形でシミュレーションをしたりして、やっとできるようになりました。その後、実際に病棟で患者さんを受け持ち、救急外来での初期対応なども学びました。分からないことがあれば、すぐに先輩医師やコメディカルの方々に質問できる環境が整っており、その都度丁寧に指導いただけるので、安心して研修することができます。まだ分からないことも多く戸惑うことも多いですが、周りのサポートを受けながら、早く1人前の医師になれるように日々研鑽していきたいと思っています。

出身地 宮崎県



かりや はるか
仮屋 遥香

出身校 れいめい高等学校▶鹿児島大学

研修先▶県立大島病院

県立大島病院で研修を始めて1年と4ヶ月、島の言葉にもだいぶ慣れてきました。奄美群島の中核病院でありながら、地域住民の救急窓口としての役割を担っている県立大島病院には老若男女、軽傷から重傷の方まで多くの方が受診されます。日当直や各科ローテートでは、診療科の壁を越えて気軽に質問しやすく、どの先生方もとても熱心に指導して下さいます。このような環境下で研修し学んだことは私にとって大きな財産となりました。最初は不安でいっぱいだった当直も、気づけば2年目として1年目の研修医の相談に乗りながら一緒に診察することも増えてきて、少しずつですが日々成長を実感しています。

8月からは大病院で研修をします。島を離れる寂しさもありますが、心機一転、今までの経験を今後の研修生活に活かしていきたいです。

出身地 出水市



いino しんや
飯尾 俊也

出身校 志学館高等部▶鹿児島大学

研修先▶鹿児島市立病院

研修医生活が始まり3ヶ月が過ぎました。各診療科での研修に加えての救急当直と、忙しいながらも症例毎に学ぶことの多い充実した日々を送っております。急患への対応では未だ慣れないことも多く、自身の知識不足から不甲斐なさを感じることも多いですが、各診療科の先生方に手技や治療方針に関して詳細なフィードバックをいただき、少しずつでも前に進んでいる気がします。

2年間の研修は長いようで、あっという間に過ぎていくでしょう。将来どの診療科に進むのか、この期間中で決めなくてははいけません。今後出会うであろう多くの患者さん・先生方と接していく中で、自分がどういった形で鹿児島の医療に貢献できるのか考えていきたいと思っています。

出身地 鹿児島市

ト

TOPICS

ピ ッ ク ス



レジフェス福岡・鹿児島, レジナビ東京・大阪に出展しました!

協議会では、5月19日(日)に福岡(福岡国際会議場)で、6月16日(日)に鹿児島(かごしま県民交流センター)で開催されたレジデントフェスティバルに、また、6月23日(日)に東京(幕張メッセ)で、7月7日(日)に大阪(インテックス大阪)で開催されたレジナビフェア2019に「オールかごしま」ブースを出展しました。

当日は、県内の指導医や研修医がスタッフとして参加し、訪問した医学生に対し、基幹型臨床研修病院の臨床研修プログラムや鹿児島での研修生活など、多岐にわたり説明を行いました。

県内外問わず、多くの医学生に訪問していただきました。



レジフェス鹿児島
ブースは常に医学生であふれていました。



レジナビ福岡
九州圏内の医学生に訪問していただきました。



レジナビ東京
30名近くの医学生が訪問してくれました。



レジナビ大阪
県外出身の医学生が多く、中には地域医療の話の聞きに来た学生もいました。

第1回臨床研修病院合同説明会を開催しました!

7月19日(金)鹿児島大学医学部鶴陵会館において、医学生を対象とした臨床研修病院合同説明会を開催しました。当日は、県内すべての基幹型臨床研修病院が個別にブースを設けて医学生からの質疑に応じました。

説明会には47名の医学生が参加し、研修医や指導医に質問を投げかけたり、真剣なまなざしで話を聞いたりする姿がみられました。

また、個別説明会の後に行われた情報交換会では、医学生と研修医・指導医・病院関係者がざっくばらんに語り合う姿が見られました。



合同説明会①
各病院のブースでは真剣に話を聞く医学生であふれました。



合同説明会②
ブースで聞けなかったことを和やかな雰囲気でも聞くことができます。

イベントライブラリ ♪♪協議会のイベント情報♪♪

現在、協議会で予定しているイベントの開催・参加情報は次のとおりです。詳細は、事務局までお問い合わせください。多数のご参加をお待ちしています♪

○第19回臨床研修医合同研修会(10月予定)

初期臨床研修医が経験した症例発表や、講師を招いた医学講演を予定しています。医学生も参加可能です。

○出前セミナー(随時開催)

鹿児島の臨床研修の最新情報や研修医の身近な話をざっくばらんに聞くことができます!
お気軽に事務局まで御連絡ください。

鹿児島県初期臨床研修連絡協議会 (事務局:鹿児島県庁 暮らし保健福祉部 医療人材確保対策室内)

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

e-mail iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

TEL 099-286-2581 FAX 099-286-5552

<http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/doctorbank/kyougikai/index.html>